

地理総合

3 年スポーツ健康、商業科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	教科書名(発行所)	高等学校新地理総合（帝国書院）
1 学習の到達目標							
広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	地理に関する社会事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読み取ることができる。		資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉で表現することができる。		課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノートの評価		出席、授業態度、課題・授業ノートの提出と評価		

地理探究

3 年理数、人文Ⅰ、Ⅱ、生活文化

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3	教科書名(発行所)	新詳 地理探究（帝国書院）
1 学習の到達目標							
第4章の目標①人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。②人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 第2部の目標①いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解すること。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解すること。②現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 第3部の目標①現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要や、探究する手法などについて理解すること。②持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	地理に関する社会事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読みとることができる		資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉で表現することができる。		課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。		
評価の仕方	到達度テスト、課題の評価		到達度テスト、課題・授業ノートの評価		資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉で説明できる		

日本史探究

3 年理数、人文Ⅰ、Ⅱ、生活文化

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3	教科書名(発行所)	山川出版社
1 学習の到達目標							
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質能力を育成する。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	日本史に関する社会事象の基礎知識を身につけている。史料を適切に読みとることができる		史料を分析、解釈し、歴史的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を表現することができる。		課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノートの評価		資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を自分なりの言葉		

3 年スポーツ健康

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3	教科書名(発行所)	高校日本史(山川出版社)
1 学習の到達目標							
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質能力を育成する。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	日本史に関する社会事象の基礎知識を身につけている。史料を適切に読みとることができる		史料を分析、解釈し、歴史的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を表現することができる。		課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。		
評価の仕方	定期考査、課題の評価		定期考査、課題・授業ノートの評価		資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を自分なりの言葉		